

2021年2月17日

報道機関 各位

## 【参加登録本日まで】長崎大学/国環研 MoU 調印式および 長崎大学/地球研/国環研によるプラネタリーヘルスに関する シンポジウムへのご招待

来る2月18日・19日、長崎大学と国立環境研究所のMoU締結を記念して、プラネタリーヘルスに関するオンラインシンポジウムを開催します。本シンポジウムは総合地球環境学研究所や関係のステークホルダーと合同で行われます。是非ご参加ください。

※ご案内が遅くなり申し訳ございません。参加登録が本日までとなっております。次頁のURLよりご登録ください。

### 【日程とトピック】

一日目(2月18日)の午前中には、長崎大学 河野茂学長と国立環境研究所 渡辺知保理事長によるMoU調印式が行われます。2機関のこれからの関係に向けた、基調講演も予定されています。午後からのシンポジウムでは、総合地球環境学研究所のスピーカーも交え、気候変動、大気汚染、マテリアルライフサイクルなど、プラネタリーヘルスに関するプレゼンテーションが行われます。この他、ヘルス KAN (Knowledge-Action Network) など、フューチャー・アースのネットワークや、これら3機関でグローバルやリージョナルな研究の実践状況に関するフラッシュトークなどが行われます。

二日目(2月19日)は、3機関のスピーカーを中心に、さらにテーマに関連する外部のスピーカーもお招きして、ワンヘルスやエコヘルスなどのプラネタリーヘルスとグローバルヘルスについて、また、宇宙利用、地球観測とグローバルヘルスの関係などに関する議論を行い、今後の連携の発展について討議を行います。

	時間	Title
2月18日 (木)	11:00- 12:00	MoU 調印式 (長崎大学・国立環境研究所)、基調講演
	13:00- 17:00	シンポジウム1日目 気候変動、環境汚染、マテリアルライフサイクル、3機関におけるグローバルやリージョナルな研究などに関するフラッシュトーク
2月19日 (金)	13:00- 17:00	シンポジウム2日目 ①グローバルヘルスとプラネタリーヘルス ②宇宙とグローバルヘルス ～COPUOS イニシアチブと日本の貢献～ ③パネルディスカッション：プラネタリーヘルスにおけるこれからの協働 ④二日間の総括：これからのコラボレーション

※詳しい暫定スケジュールは別紙をご覧ください。

※本イベントは Zoom で行われますが、一般公開イベントではありませんのでご注意ください。

参加機関の主要なステークホルダー（プラネタリーヘルス関連）の皆様はご参加いただけます。

※MoU 調印式は日本語で執り行われ、シンポジウムの各プレゼンテーションは英語または日本語で行われます。プログラム詳細に各パートの使用言語が記載されています。

### 【参加登録】

2月17日（水）までに下記 URL よりご登録ください。登録・参加は無料です。

Zoom のリンクはイベント前日にメールで送付されます。

（登録フォーム URL）

[https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=gxsaUAU58UCwQ0U74ywudukcnEdRUG5FtsYAEob0K\\_5URU0wV1RNR0EwUTZaWTE2U0900VoyMDJITS4u](https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=gxsaUAU58UCwQ0U74ywudukcnEdRUG5FtsYAEob0K_5URU0wV1RNR0EwUTZaWTE2U0900VoyMDJITS4u)

### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

ジル・シウン（国立環境研究所／フューチャー・アース）

E-Mail [giles.sioen@futureearth.org](mailto:giles.sioen@futureearth.org)

Dr. Giles Sioen, Research Associate, National Institute for Environmental Studies and Co-lead, Research & Innovation at Future Earth

門司 和彦（長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科 教授）

E-Mail [moji.k273@gmail.com](mailto:moji.k273@gmail.com)

TEL : 090-3668-2048

Best regards,

Planning Committee

Chris Fook Sheng Ng, Fumiko Kasuga, Giles Sioen, Hein Mallee, Hiroshi Tanimoto, Kazuhiko Moji, Noriko Kawata, Reiichiro Ishii, and Seita Emori



National  
Institute for  
Environmental  
Studies, Japan



国立大学法人  
長崎大学  
NAGASAKI UNIVERSITY



Inter-University Research Institute Corporation  
National Institutes for the Humanities  
Research Institute for  
Humanity and Nature

futureearth  
Research. Innovation. Sustainability.

## プログラム詳細

## 一日目

時間		座長
11:00 - 11:05	開会の挨拶【日本語】 ● 国立環境研究所 渡辺 知保 理事長	岩崎 一弘 (国立環境研 究所)
11:05 - 11:10	挨拶【日本語】 ● 長崎大学 河野 茂 学長	
11:10 - 11:20	MoU 調印式および Zoom 写真撮影【日本語】	
11:20 - 11:35	基調講演【日本語】 プラネタリー・ヘルスは人類を救う処方箋 ● 渡辺 知保 (国立環境研究所 理事長)	
11:35 - 11:50	基調講演【日本語】 熱帯医学・グローバルヘルスからプラネタリーヘルスへ：長崎 大学の取り組み ● 門司 和彦 (長崎大学 教授)	
11:50 - 12:00	午前の部閉幕	
	休憩	
13:00 - 13:15	シンポジウム開催のご挨拶【英語】 ● 森口 祐一 理事 (国立環境研究所) ● 有吉 紅也 教授 (長崎大学熱帯医学研究所 臨床感染症 学分野)	ジル・シウン (国立環境研 究所/フューチ ャー・アース)
13:15 - 13:20	長崎大・地球研・国環研合同シンポジウムについて【英語】 ● 江守 正多 (国立環境研究所 地球環境研究センター 気候変動リスク評価研究室) ● 谷本 浩志 (国立環境研究所 地球環境研究センター 地球大気化学研究室)	
13:20 - 14:20	セッション A【英語】 気候変動とプラネタリーヘルス ● 日本における熱中症搬送者数の予測：暑熱馴化の検討 【英語】 岡 和孝 (国立環境研究所 気候変動適応センター 気	橋爪 真弘 (東京大学医 学系研究科 国際保健政策 学)

	<p>候変動適応戦略研究室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 気候変動と子どもの健康 気温と早産・低出生体重・死産のリスク【英語】 マダニヤズ・リナ (長崎大学熱帯医学研究所 小児感染症学分野)</li> <li>● 気候変動による健康影響：IPCC-AR5 報告書のコメント【英語】 安成 哲三 (総合地球環境学研究所)</li> <li>● フューチャー・シティ：都市化とヒートアイランド現象【英語】 キム・ホ (国立ソウル大学 公衆衛生大学院)</li> <li>● ダスト、氷雲と地球の反射率【英語】 河本 和明 (長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科)</li> <li>● 質疑応答</li> </ul>	
14:20 - 15:15	<p><b>セッション B【日本語】</b> 大気汚染と健康：分子および地域スケールで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大気微小粒子の主な発生源と健康影響ポテンシャル：最近の成果と今後の課題【日本語】 伏見 暁洋 (国立環境研究所 環境計測研究センター 反応化学計測研究室)</li> <li>● 長崎および途上国における小型の PM2.5・ガスセンサを用いた大気環境研究【日本語】 中山 智喜 (長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科)</li> <li>● クリーンな空気、公衆衛生、持続可能な農業に向けた社会変革の道筋—北インドの事例【日本語】 林田 佐智子 (総合地球環境学研究所)</li> <li>● 質疑応答</li> </ul>	佐藤 圭 (国立環境研究所)
	休憩	
15:25 - 16:15	<p><b>セッション C【英語/日本語】</b> マテリアルライフサイクルとプラネタリーヘルス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地球の環境容量と整合する物質フロー目標の開発：プラスチックの事例【日本語】</li> </ul>	南齋 規介 (国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 国際)

	<p>渡 卓磨 (国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 国際資源循環研究室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日常生活の隠れた資源消費とその環境影響 【日本語】 重富 陽介 (長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科)</li> <li>● 各国の森林破壊フットプリントのマッピング 【英語】 グイエン ティエン ホアン、金本 圭一朗 (総合地球環境学研究所)</li> <li>● 質疑応答</li> </ul>	資源循環研究室)
16:15 - 16:55	<p><b>情報共有【英語】</b> グローバルおよびリージョナルな研究の実践状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● フラッシュトーク：フューチャー・アースとプラネタリーヘルスに関するプロジェクト 【英語】 ジル・シウン (国立環境研究所/フューチャー・アース)</li> <li>● カンボジアでのエコヘルス研究を目指して：水産学と環境学の観点から 【英語】 和田 実 (長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科)</li> <li>● 未来のサニテーションを共創する：地域のアクターを巻き込む TD 研究 【英語】 山内 太郎 (総合地球環境学研究所・北海道大学大学院保健科学研究院 人類生態学研究室)</li> <li>● 全国出生コホート研究：エコチル調査 (JECS) 【英語】 関山 牧子 (国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター 環境疫学研究室)</li> </ul>	谷口 真人 (総合地球環境学研究所)
16:50 - 17:00	<p>一日目閉幕の挨拶 二日目にむけて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 平山 謙二 (長崎大学熱帯医学研究所 免疫遺伝学分野)</li> </ul>	ウン・クリスフックシェン (長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科)

二日目

時間		座長
13:00 - 13:05	<b>二日目開始のご挨拶【英語】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 谷本 浩志 (国立環境研究所 地球環境研究センター 地球大気化学研究室)</li> </ul>	ジル・シウン (国立環境研究所/フューチャー・アース)
13:05 - 14:00	<b>セッション D【英語/日本語】</b> <b>グローバルヘルスとプラネタリーヘルス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 未来世代の環境と健康をまもる【日本語または英語】 中山 祥嗣 (国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター エコチル調査コアセンター)</li> <li>● グローバルな巨大リスクとプラネタリーヘルス【英語】 吉田 文彦 (長崎大学 核兵器廃絶研究センター)</li> <li>● 生態系の健康からプラネタリーヘルスへ【英語】 ハイン・マレー (総合地球環境学研究所/フューチャー・アース)</li> <li>● 質疑応答</li> </ul>	ハイン・マレー (総合地球環境学研究所/フューチャー・アース)
14:00 - 15:30	<b>セッション E【日本語/英語】</b> <b>宇宙とグローバルヘルス～COPUOS イニシアチブと日本の貢献</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● COPUOS の概要【日本語】 鍵和田 瑤子 (外務省 総合外交政策局 宇宙・海洋安全保障政策室)</li> <li>● NIES からの視点と貢献の可能性【日本語】 谷本 浩志 (国立環境研究所 地球環境研究センター 地球大気化学研究室)</li> <li>● 地球観測衛星データの公衆衛生分野での利用【日本語】 大吉 慶 (宇宙航空研究開発機構)</li> <li>● 地球観測衛星データを用いた空間疫学解析：ラオスの森林開発がマラリア罹患率を増加させる可能性の検討【日本語または英語】 高橋・松本エミリー (国立国際医療研究センター研究所)</li> <li>● グローバルヘルス分野における地球観測衛星データの活用事例：サーベイランス・ベクターコントロール・</li> </ul>	谷本 浩志 (国立環境研究所 地球環境研究センター 地球大気化学研究室)

	<p>環境保全と健康【日本語】</p> <p>東城 文柄（長崎大学大学院 熱帯医学・グローバルヘルス研究科）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アフリカにおける衛星データを用いた栄養状態と感染症リスク予測【日本語】</li> </ul> <p>皆川 昇（長崎大学熱帯医学研究所 病害動物学分野）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスカッション【日本語】</li> </ul>	
	休憩	
15:40 - 16:40	<p>プラネタリーヘルス分野での協働に関するパネルディスカッション【日本語/英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 橋爪 真弘（東京大学医学系研究科 国際保健政策学）</li> <li>● 中山 智喜（長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科）</li> <li>● 南齋 規介（国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 国際資源循環研究室）</li> <li>● ハイン・マレー（総合地球環境学研究所 / フューチャー・アース）</li> <li>● 谷本 浩志（国立環境研究所 地球環境研究センター 地球大気化学研究室）</li> <li>● 春日 文子（国立環境研究所 / フューチャー・アース）</li> <li>● 青木 恒憲（長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科）</li> </ul>	金子 聡 （長崎大学）
16:40 - 16:45	<p>今後の協働にむけてのシンポジウム両日の総括【英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 春日 文子（国立環境研究所 / フューチャー・アース 国際事務局長）</li> </ul>	ジル・シウン （国立環境研究所/フューチャー・アース）
16:45 - 17:00	<p>閉会のご挨拶【英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 渡辺 知保（国立環境研究所 理事長）</li> <li>● 金子 聡（長崎大学熱帯医学研究所 教授）</li> <li>● 安成 哲三（総合地球環境学研究所 所長）</li> </ul>	ウン・クリスブックシェン （長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科）